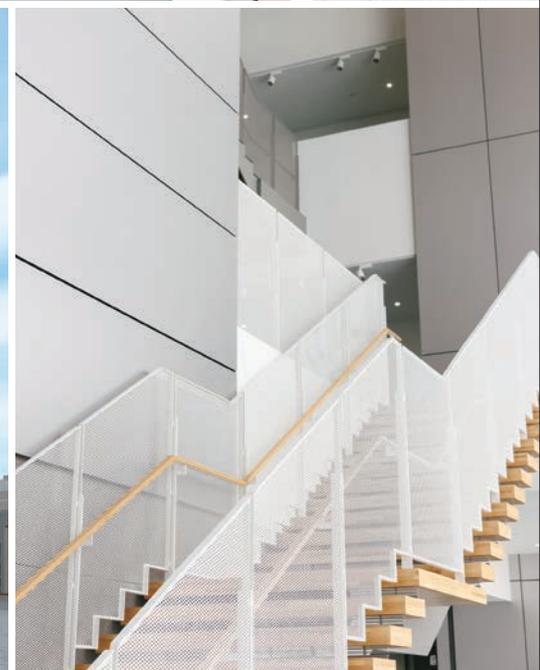


TPOU NEWS



富山県立大学ニュース

NO. 144
| Spring | 2026



p.2-3 Close-Up県大

情報工学研究棟完成

学び・研究の拠点として期待される

- p.4 退職にあたり
- p.5-6 キャンパストピックス
- p.6 学生レポート
- p.7 研究紹介
- p.8 受賞情報
- p.9 インフォメーション
- p.10 サークル紹介・スケジュール

情報工学研究棟が完成。
学習・研究環境はマスマス充実じゃ!



「ドンドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

情報工学研究棟完成

学び・研究の拠点として期待される

情報工学部の新設に伴って整備を進めてきた新校舎「情報工学研究棟」が竣工し、教育・研究の場として学生たちを迎え入れます。学習・研究環境は従来にも増して充実しました。その概要をお知らせします。



情報工学研究棟 外観

データサイエンス学科、情報システム工学科、知能ロボット工学科を擁する本学の情報工学部が拠点を構える情報工学研究棟が竣工しました。

鉄骨造 4階建て
延べ床面積約4,036平方メートル



キャンパスマップ・フロアマップ 1F

情報工学研究棟の正面玄関脇にあるデジタルサイネージによるキャンパスマップ・フロアマップ。射水キャンパスには20棟近い建物があ、り、位置関係がわかりやすく表示されています。



ラーニングcommons 2F

学生向けの自習スペース。手前のフリースペースでは、天井にプロジェクターが設置されており、例えばオープンキャンパスなどの際、資料映像などを投影して高校生や保護者にご覧いただくことができます。



グリーン×AI教育研究拠点 1F

この研究拠点では社会の課題を把握するための基礎データを集積し、情報工学部によるデータ解析によって解決策を導き出すを試みます。内部は4つの研究エリアに分かれています。「製薬プロセスのグリーン化研究エリア」では製薬プロセスにおける「いつ」「どこで」「どのような物質が」合成されているかを可視化し、その情報をAIによって解析・制御することで、薬品を効率的に合成する薬品合成プロセスのDX化を目指します。「河川流域の水・土砂災害予測研究エリア」では洪水や土砂災害を縮小モデルで再現し、予測や評価技術の高度化、防災教育などに活用します。「インフラ・マネジメント研究エリア」では、

橋やトンネルなどの老朽化を、センサによって非破壊で検査し、点検の効率化や事故防止などに結びつけます。「エネルギーミックス研究エリア」では、情報工学研究棟の屋上に設置した太陽光パネルによる発電や建物全体の消費電力、電気自動車への充電をモニタし、電力使用・貯蔵の最適化の研究を行います。また水素エネルギー利活用の研究も行います。

「グリーン×AI教育研究拠点」はガラス張りで、1階の通路から内部の様子を見ることができます。高校生や保護者、企業の皆さんの見学は大歓迎!



太陽光パネル



太陽光パネルで創出した電力を供給する電気自動車の充電スタンド

講義室 1F

定員81人。全席電源接続可。講義室の中ほどにはモニター(2基)があり、後ろ側の学生にも見やすくなるよう配慮されています。

学生実験室 1F

ここでは、データ解析のみならず環境からデータを取得するための各種センサとコンピュータを組み合わせた回路製作などが可能です。電源はすべて天井から取るようにし、安全に配慮した実験室に設計されています。

データサイエンス演習室 2F

少人数に分かれ、1台のモニターを学生数人が囲んで授業を進めるため、教員が示す資料の細部も見やすくなっています。学生が発表する際は、パソコンをつないで全モニターに表示。机・椅子は可動式で、グループの組み換えが容易です。



コミュニケーションラウンジ 3F

学生向けの自習・コミュニケーション用のスペース。テラス席もあります。

女子学生用パウダースペース

1F

近年は女子学生が徐々に増えつつあることから、パウダースペースを女子トイレ内に設けています。





理事・副学長
工学部 医薬品工学科
教授
中島 範行

1995年の10月に生物工学研究センター助教授として本学に着任して以来30年の間、本学において教育と研究、大学運営、地域貢献と幅広く携わらせていただきました。ひとえに、教職員をはじめとする多くの皆様方のお力添えの賜物と心から感謝いたします。

本学に生物工学研究センターが開設されるタイミングで、初代センター長の山田秀明先生から声をかけていただき、本学とのご縁ができました。教職員の皆様に、生物工学を始め農芸化学から工学、教養教育などの大学全般まで深くご教授いただくとともに、研究とともに大学運営や地域連携など幅広い分野で、先を見据えた様々なご助言もいただきました。

2008年4月からは、学科主任教授(現学科長)、生協理事長、キャリアセンター所長、学生部長、入試・学生募集部長、工学部長、理事・副学長の役職に携わりました。生物工学研究センター、生物工学科、医薬品工学科および看護学部の開設、情報工学部の立ち上げ、中央棟、その後のDXセンターの設計と建物の竣工に携わりました。大学院の新設、再編などの組織替えや、教育研究組織の変革に関与させていただき、目まぐるし

く時間が過ぎていきました。2020年からのコロナ対応の3年間は、今思えば貴重な体験とも思いますが、学生・保護者・教職員の方々に取っては、活動したいことができない不便で大いに残念な期間でした。この時の経験を生かして、ダイナミックな変化も柔軟かつ積極的に取り入れて、新たな大学のあり方や可能性を追求すべきだと思い知らされた気がします。

着任当初の30年前と比べて、現在の大学構内の景色の変化の大きさと多さにおどろかされますが、自分が携わった結果とも感じられ、充実した幸せな時間でした。薬学を中心とする分野で教育研究を始め、進めてきた一方、機能性を有する物質や食品という分野で多くの学生の皆さんとともに学び、挑戦することもできました。また、地域協働活動(現代GP、COC、COC+等)を通して地域社会との繋がりの強化に微力ながらも協力させていただけたのではないかと考えています。

3月末での退職に当たり、皆様のご健康とご活躍をお祈りするとともに、激しい社会変化の中でも本学が引き続き発展してゆけるよう応援させていただきます。ありがとうございました。



工学部
教養教育センター
教授
小林 一也

1990年4月に富山県立大学の開学と同時に神奈川県川崎市から着任しました。開学時を知る最後の一人です。当時は2学科から成る工学部のみで入学定員160名でした。三倍ほどの規模となった現在からは想像し難いことと思います。

1989年3月の学位取得に前後して本学の教員選考委員から声がかかり、機械システム工学科講師として採用が内定しました。都会との交通が不便だった富山を避ける先輩が多く、最後の駒として運よく滑り込んだのだと思います。

開学準備会議で富山に何度か出張しました。

本部棟の建設現場を見学し、屋上から射水平野を眺めたことを覚えています。入試は、単独日程の筆記試験で高倍率となり、教員予定者が高志会館に4日ほどカンヅメで採点しました。

私の専門は3次元形状処理で「CAD/CAM」「形状モデリング演習」等を担当、2019年から教養教育センターに移り、富山キャンパスで看護必修の「情報科学演習」を担当しました。先日、県立中央病院で若手看護師達から声をかけられ、受講生だったと聞き驚いた次第です。

何もかも皆なつかしい… 36年間感謝です。



看護学部 看護学科
在宅看護学講座
講師
北林 正子

富山県立大学看護学部の前身である富山県総合衛生学院を卒業後、大学病院で36年間看護師として臨床に携わり、2019年の看護学部の開設と共に、また、この学び舎に戻ってまいりました。そこから教員生活が始まり、早いもので7年が経とうとしております。

一期生の学生と共に歩み始め、これからという時に新型コロナウイルスの影響を受けてのオンライン授業や制限の中での実習、また、多様な学生への看護基礎教育、研究活動など、難儀なこともありました。そのような中、講座の先生方と一緒に

に知恵を絞りながら意見を出し合い、楽しく笑顔で奮闘してまいりました。病院では、新人を迎え「金の卵を大切に育てよう」を合言葉に現任教育を行ってきましたが、大学では、成長した卒業生を「金の卵」として送り出す役割を果たせたのではないかと考えています。

今日まで、講座の先生方をはじめ学部や大学の先生方、事務の方々から沢山のことを教わり、またフォローしていただきました。皆さんの支援がなければ、大学教員として勤め上げることはできなかったと思います。皆様に感謝申し上げます。

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース

8月4日(月)～9月30日(火)の期間で、将来の富山県の医薬品産業を支える人材の育成と確保のため、富山県、富山大学と連携して製薬・バイオ医薬などのWeb講義を87大学の受講生279名に提供しました。県内製薬企業での現地企業見学体験会も開催した結果、うち130名が修了証を手に入れました。



キャリア支援(就職・進学)セミナー

8月23日(土)に「キャリア支援(就職・進学)セミナー」をオンラインで開催しました。当日は、伊藤キャリアセンター所長による本学の就職・進学状況や就職支援体制についての説明、(株)マイナビによる就職活動に関する講演、学生3名による就活体験談の発表を行い、82名の保護者や学生に参加いただきました。



浅野泰久名誉教授の瑞宝中綬章受章について

令和7年秋の叙勲において、浅野泰久名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。同名誉教授は、平成2年に工学部に着任されて以来、応用微生物学、酵素有機化学、酵素工学などの研究を通じて、本学の教育研究に尽力されてきました。

12月3日(水)には、理事長・学長を表敬訪問され、受章の喜びを報告されました。



バイオ医薬品人材育成講座開設 県内外から注目

富山県の出資で4月に寄附講座「バイオ医薬品人材育成講座」を開設しました。以来、専門人材の育成プログラムを構築し県内製薬企業向けに様々な講義を実施しています。県・経産省・厚労省などのご来賓を招いた9月の開設記念シンポジウムでは期待に満ちた祝辞をいただきました。次年度は学生向けの講義も実施予定です。



開設記念シンポジウム パネルディスカッション

令和7年度 全学FD研修会

10月20日(月)に全教員を対象とした全学FD研修会を対面とzoom配信で開催しました。FDとは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みのことです。

今年度は、学長講演、副学長による本学の内部質保証体制についてのお話、本学学生相談員による要配慮学生への対応についての発表が行われました。

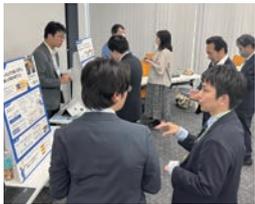


DX教育研究センター「産学連携勉強会」の開催について

10月2日(木)、3日(金)に、DX教育研究センターにおいて、産学連携への取り組みとして企業向け「産学連携勉強会」を開催しました。

基調講演(JAIST中田泰子准教授)と

教員5名から、産学連携の可能性や企業の課題解決に向けた研究シーズを発信し、2日間で延べ86名(オンライン含)が参加しました。



企業との交流会



情報システム工学科 大倉裕貴 講師



基調講演

田中 耕一先生(本学特任教授)による特別授業

11月5日(水)、ノーベル化学賞受賞者である本学の特任教授 田中耕一先生(株)島津製作所エグゼクティブ・リサーチフェロー)による特別授業を大講義室で開講し、学部生を中心に約80名の学生が聴講しました。

授業では、質量分析の技術が様々な疾病の早期発見や感染症の診断等、幅広い分野に応用できることをご紹介いただいたほか、ある分野の考え方や技術を他

の分野に応用することでイノベーションが起こる可能性があることなど、自らのご経験を踏まえた貴重なお話をいただきました。



令和7年度 富山県立大学環境講演会

11月20日(木)に環境講演会を開催し、「サステナブルのその向こう～世界が目指す”リジェネラティブなあり方”とは～」と題して(一社)Earth Company最高探究責任者の濱川知宏氏にご講演いただきました。192名の参加があり、自然と共生する社会を目指す、リジェネラティブな考え方について学びました。



令和7年度 高校生向け科学技術体験講座

7月に大門高校、8月に富山第一高校、呉羽高校、12月に富山東高校および富山いずみ高校の皆さんを招き、講座を実施しました。受講生は、大学での専門的な講義や実験を大学の施設を利用して体験することで、科学・技術への関心を高めるとともに、担当教員やアシスタントの学生との会話からも、本学の様々な魅力を感じた様子でした。



7/4大門高校 環境・社会基盤工学コース
「再生可能エネルギーと水素エネルギー」



8/22呉羽高校 電気電子工学コース
「パワーエレクトロニクス探究
～EVを支える半導体回路技術～」



12/17富山いずみ高校 知能ロボット工学コース
「情報工学が拓く賢いものづくり」

富山県立大学公開講座

教養教育センターの教員が講師となり『視点を変えれば、世界が変わる - 大学で出会う新しい学び』をテーマに10～11月に公開講座を開催しました。延べ94名の受講者が参加され、「大学の先生がどのような研究や教育を行っているのかを知ることができる貴重な機会だった」などの感想をいただきました。



8/12富山第一高校 生物工学コース
「生命の本質、DNAを理解する」



12/12富山東高校 データサイエンスコース
「データサイエンス体験：オープンデータを使った交通事故分析」

ウェルビーイング特別講演会の開催について

1月8日(木)、石川善樹先生(公益財団法人Well-being for Planet Earth代表理事)を講師に迎え、ウェルビーイング特別講演会を大講義室で開催しました。当日は、学生のほか、学外からの参加者やzoom配信による聴講者も含め、100名以上が参加しました。

講演会では、ウェルビーイングの概念

について、時代や個人の状況によっても定義が異なることなどが説明されました。



Report from students 学生レポート

研究活動について

工学研究科 電子情報工学専攻 1年 浅名 舜介

私は現在、工学研究科電子情報工学専攻で森島研究室に所属し、ブロックチェーンの信頼性向上に向けた異常検知手法の研究に取り組んでいます。ブロックチェーンは高い改竄耐性、匿名性、信頼できる第三者を必要としない特徴があり、様々な分野での応用が期待されています。一方で、一度承認された取引は修正することができないため、盗難や詐欺などの不正取引が承認されると被害が拡大しやすい問題があります。そのため、不正取引は承認前に検出して修正する必要があり、異常検知を用いて通常の取引とは異なる特徴を持つ取引を検知することで、不正取引を検知する手法の研究に取り組んでいます。



研究の様子

こうした研究に取り組む中で得られた成果を、学外場で発表する機会に恵まれ、これまでに国際会議や学会での発表を経験することができました。特に国際会議では英語での発表となり緊張もありましたが、貴重な経験となりました。

今後も研究活動に取り組みながら、様々な経験を通して多くのことを学んでいきたいと思っています。

研究紹介-①

工学部 環境・社会基盤工学科 / 講師 三小田 憲史

環境中のマイクロプラスチック調査

私たちの研究室では近年、環境中に存在するマイクロプラスチックについて調べています。マイクロプラスチックとは、プラスチックごみの破碎などによって生じる微小な粒子を指します。自然界に長く残留しやすいことから課題となっており、対策のためには環境中での振る舞いや広がりを明らかにすることが重要です。

美しい富山湾の海岸においても、青色や赤色のカラフルなプラスチック片、発泡スチロール片など、マイクロプラスチックが見つかります。これまでに研究室では、マイクロプラスチックの個数調査や化学分析を行ってきました。また、これらのマイクロプラスチックは波や紫外線によって微細化が進行し、回収がより困難になると予想されます。実際に劣化実験を行ったところ、プラスチックを紫外線に長期間曝露すると耐久性が著しく低下し、砂との摩擦によって崩れやすくなることが分かりま

した。今後、微細化が加速するタイミングや条件を調べることで、マイクロプラスチックの発生や拡散の低減へ役立てたいと考えています。このような研究テーマは、学生が身近な環境問題に向き合いながら科学的に課題を考える力を養う機会にもなっています。



海岸で見つかる漂着ごみやマイクロプラスチック

研究紹介-②

工学部 医薬品工学科 / 准教授 大坂 一生



多様な分子の関係から生命を理解する～ 質量分析が導く生命分子解析

[研究室の特徴]

医薬品工学科と聞くと、誰もが薬物機能評価や細胞培養実験を思い浮かべるといいます。ところが本研究室のドアを開けると、まず目に入るのは大型の質量分析装置群。「ここ、機械系?」と驚かれます。見学した高校生は「思ったのと違うかも」と言い、大学生は「講義と関係ないはず」と自分に言い聞かせ、他機関の方はその設備と運用法に驚愕します。

[分子同士の関係性から生命現象を解析]

本研究室では、質量分析装置を用いてホルモンを含む多様な代謝物を網羅的に捉えています。得られる情報をもとに、従来の直接観察や単一種の分子の挙動解析だけでなく、膨大な数の分子同士の関係性から生命現象を理解することを目指しています。応用面では、統計解析や人工知能も活用し、一度の測定から複数疾患を推定する検査法や、人や動物の健康・ストレス評価法を開発しています。また、被毛から過去の健康状態の時間変化を明らかにする手法も開発しています。

[医療・産業・環境へ広がる応用展開]

研究対象は、主にホルモン異常疾患、癌などの生活習慣病、塩分摂取に依存しない高血圧症です。その高血圧症は診断確定できれば治療が可能のため、医療費削減も期待されます。加えて、企業や医療従事者と連携し、医薬品(低分子、核酸、糖タンパク質)・食品・化学工業材料の主要成分と不純物、ナノプラスチックを含む環境汚染物質も対象として研究し、製品の信頼性や環境保全に資する分析技術を提案してきました。今後も、医学を中心に、多分野を横断する基盤分析技術で社会課題の解決に貢献していきます。



実験室と、抜けた毛を利用されている猫たち

受賞情報

教員の受賞

受賞日順、学科名、職位は
受賞時のもの

竹井 敏 教授 / 工学部 医薬品工学科

医薬品工学科 / 安藤麻乃さん、林飛隆さん、八窪優奈さん、大島美咲さん、森田麻友さん、Goo Sen Leanさん
と共同受賞

日本食品機械工業会
FOOMA JAPAN 2025
アカデミックプラザ賞(研究者評価部門)

食品検査技術の発展と貢献に対して

R7.6.12受賞

奥 直也 准教授 / 工学部 生物工学科

エスベック環境研究奨励賞(第28回公益信託エスベック地球環境研究・技術基金の授与と併せての表彰です)

稀少湧泉性緑藻タヤママリモの保全に向けた無菌単藻株作出と生育特性評価(助成対象の研究テーマ) R7.8.28受賞

榊原 一紀 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

電気学会 2025年度
電子・情報・システム部門 貢献賞

編修活動の発展と活性化への貢献に対して

R7.8.28受賞

榊原 一紀 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

小島 千昭 准教授 / 工学部 電気電子工学科

工学研究科 電子・情報工学専攻修了 / 松崎仁平さん、工学部 電気・電子工学科卒 / 朝倉弘達さん、永山悠さんと共同受賞

電気学会 2025年度
電子・情報・システム部門誌 優秀論文賞

「EVタクシーの運用および充電に対する全体最適化モデルとその評価」(電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌), 2023, 143巻, 5号) R7.8.28受賞

中村 正樹 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

2025年度 計測自動制御学会
学会賞 論文賞・友田賞

形式概念分析と機械学習による交通事故予測手法の開発(SICE 論文集Vol.59, No.10で発表) R7.8.29受賞

榊原 一紀 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

中村 正樹 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

本吉 達郎 教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

星川 圭介 教授 / 工学部 環境・社会基盤工学科

工学研究科 電子・情報工学専攻修了(2022年度) / 小谷祥悟さんと共同受賞

2025年度 計測自動制御学会
論文賞・友田賞

「形式概念分析と機械学習による交通事故予測手法の開発」(計測自動制御学会論文集 Vol.59, No10) R7.8.29受賞

小宮山 陽子 准教授 / 看護学部 看護学科

日本看護学教育学会第35回学術集会
「発展部門」口演セッション: 優秀演題賞

看護基礎教育におけるヘルスアセスメント学習到達度明確化のための評価ツールの開発 R7.8.30受賞

山田 周歩 講師 / 工学部 機械システム工学科

日本機械学会
設計工学・システム部門 奨励業績表彰

設計工学・システム分野における研究開発成果

R7.9.4受賞

川上 翔太郎 講師 / 教養教育センター

第30回日本臨床生理学会
優秀論文賞(共同受賞)

加熱式タバコならびに紙巻きタバコの使用が血管内皮機能に及ぼす影響 R7.11.8受賞

長谷川 晃 准教授 / 情報工学科 データサイエンス学科

日本放射線技術学会 中部支部
奨励賞

デジタル画像技術の発展および学会員の研究意識の向上に大きく貢献したのもの R7.11.15受賞

瀧野 初恵 講師 / 看護学部 看護学科

金沢大学ダイバーシティ顕彰
はあざみ女性研究者賞(若葉賞)

糖尿病足病変の予防・重症化回避に向けた看護実践の研究と教材開発・教育支援 R7.11.26受賞

伊東 聡 准教授 / 情報工学科 知能ロボット工学科

杉澤 康友 助教 / 情報工学科 知能ロボット工学科

松本 賢太 講師 / 情報工学科 知能ロボット工学科

神谷 和秀 教授 / 情報工学科 知能ロボット工学科

知能ロボット工学科 / 神谷虹佑さん、株式会社ミツトヨ / 石下雅史さん、田山純平さん、長濱龍也さんと共同受賞

2025年度 精密工学会北陸信越支部
学術講演会 ベストプレゼンテーション賞

R7.12.6受賞

学生の受賞

学科名、学年、指導教員の
職位は受賞時のもの

安藤 麻乃、林 飛隆、八窪 優奈、大島 美咲、森田 麻友、Goo Sen Lean

/ 工学部 医薬品工学科4年

医薬品工学科 / 竹井敏教授と共同受賞

日本食品機械工業会
FOOMA JAPAN 2025
アカデミックプラザ賞(研究者評価部門)

指導教員: 教授 竹井 敏

R7.6受賞

松崎 仁平 / 工学研究科 博士後期課程
総合工学専攻(2024年度 修了)

朝倉 弘達 / 工学部 電気電子工学科(2019年度 修了)

永山 悠 / 工学部 電気電子工学科(2022年度 修了)

データサイエンス学科 / 榊原一紀教授
電気電子工学科 / 小島千昭准教授と共同受賞

電気学会 2025年度
電子・情報・システム部門誌 優秀論文賞

指導教員: 教授 榊原 一紀、准教授 小島 千昭 R7.8受賞

小谷 祥悟 / 工学研究科 博士前期課程
電子・情報工学専攻(2022年度 修了)

情報工学科 データサイエンス学科 / 榊原一紀教授
中村正樹教授
本吉達郎教授

工学部 環境・社会基盤工学科 / 星川圭介教授
と共同受賞

2025年度 計測自動制御学会
論文賞・友田賞

指導教員: 教授 中村 正樹

R7.8受賞

津田 樹 / 工学研究科 博士前期課程
知能ロボット工学専攻2年

精密工学会 2025年度秋季大会学術講演会
学生研究発表会 ハルステック工業賞(企業賞)

指導教員: 准教授 伊東 聡

R7.9受賞

村上 遥翔 / 工学研究科 博士前期課程
電子・情報工学専攻2年

2025年度 電気・情報関係学会北陸支部連合大会
優秀論文発表賞

指導教員: 教授 榊原 一紀

R7.9受賞

中尾 朔也 / 工学研究科 博士前期課程
環境・社会基盤工学専攻1年

第33回土木学会地球環境シンポジウム
優秀ポスター発表賞

指導教員: 教授 呉 修一

R7.9受賞

米山 貴将 / 工学研究科 博士前期課程
環境・社会基盤工学専攻2年

日本陸水学会
第89回札幌大会 口頭発表賞

指導教員: 准教授 坂本 正樹

R7.9受賞

松下 賢士 / 工学研究科 博士前期課程
生物・医薬品工学専攻1年

第98回日本生化学会大会
若手優秀発表賞

指導教員: 准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之

R7.11受賞

仙田 夢翔 / 工学研究科 博士前期課程
生物・医薬品工学専攻2年

第84回日本栄養・食糧学会中部支部大会
学生優秀発表賞

指導教員: 准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之
R7.11受賞

宮城 里彩 / 工学研究科 博士前期課程
生物・医薬品工学専攻2年

日本ビタミン学会 次世代ミーティング 第3回大会
優秀発表賞

指導教員: 教授 生城 真一 R7.12受賞

小田 鈴佳 / 工学研究科 博士前期課程
生物・医薬品工学専攻1年

令和7年度高分子学会北陸支部若手研究発表会
優秀ポスター賞

指導教員: 教授 小山 靖人 R7.12受賞

神谷 虹佑 / 工学部 知能ロボット工学科4年

知能ロボット工学科 / 伊東聡准教授、杉澤康友助教、松本賢太講師、神谷和秀教授
株式会社ミツトヨ / 石下雅史さん、田山純平さん、長濱龍也さんと共同受賞

2025年度 精密工学会北陸信越支部
学術講演会 ベストプレゼンテーション賞

指導教員: 准教授 伊東 聡 R7.12受賞

吉本 陽生 / 工学研究科 博士前期課程
生物・医薬品工学専攻1年

第14回 TSOD(肥満・糖尿病)
マウス研究会 鈴木賞

指導教員: 教授 長井 良憲 R7.12受賞

鳶川 梨花 / 工学部 医薬品工学科3年

鎌田 桃歌 / 工学部 医薬品工学科3年

中川 舞桜 / 工学部 医薬品工学科3年

Engage Mpama Doriana / 工学部 医薬品工学科3年

富山県2025オレゴンカップ
英語プレゼンテーションコンテスト優良賞

指導教員: 教授 竹井 敏 R7.12受賞

蔵川 卓士 / 工学研究科 博士後期課程
総合工学専攻1年

第30回 日本フードファクター学会学術集会
Young Investigator Award

指導教員: 教授 生城 真一、准教授 古澤 之裕 R7.12受賞

Mst. Julia Sultana / 工学研究科 博士後期課程
総合工学専攻3年

第30回 日本フードファクター学会学術集会
Young Investigator Award

指導教員: 教授 生城 真一 R7.12受賞

藤島 圭吾 / 工学研究科 博士前期課程
環境・社会基盤工学専攻1年

第5回地盤工学会北陸支部
ユースネットワーク研究発表会 発表賞

指導教員: 准教授 兵動 太一 R8.1受賞

山田 健太郎 / 工学研究科 博士前期課程
環境・社会基盤工学専攻1年

第5回地盤工学会北陸支部
ユースネットワーク研究発表会 発表賞

指導教員: 教授 古谷 元 R8.1受賞

小嶋 惟睦 / 工学部 電気電子工学科4年

2025年度 電気・情報関係学会北陸支部連合大会
(JHES2025) 学生優秀論文発表賞

指導教員: 教授 吉河 武文 R8.2受賞

坂口 健心 / 工学部 電気電子工学科4年

2025年度 電気・情報関係学会北陸支部連合大会
(JHES2025) 学生優秀論文発表賞

指導教員: 教授 吉河 武文 R8.2受賞

1 富山県立大学県民開放授業（オープン・ユニバーシティ）

～令和8年度前期受講生募集～

本学では、地域の方々に正規の授業を公開する県民開放授業（オープン・ユニバーシティ）を実施しています。簡単な手続きとリーズナブルな受講料で、教養教育科目や専門科目などバラエティに富んだ授業を学生と一緒に受講いただけます。

◆お申込み・お問い合わせ先

富山県立大学地域連携センター（受講生窓口）
 〒939-0398 富山県射水市黒河5180
 TEL：0766-56-0604 FAX：0766-56-0391
 E-mail：openuniv@pu-toyama.ac.jp
 URL：https://www.pu-toyama.ac.jp/regional_alliances/lifelong_learning/open_university/



- ◆募集期間 令和8年3月16日(月)～3月31日(火)
- ◆授業期間 令和8年4月10日(金)～8月13日(木)
- ◆公開科目 **【一般教養科目】**
 経済学I、心理学I、数学Iなど
【工学部・情報工学部専門科目】
 機械力学、バイオ医薬工学、
 ロボット工学基礎など
- ◆受講料 1科目5,000円(複数科目の受講可能)
 ※研究協会会員には半額助成あり。

2 学位記授与式・修了式

令和7年度富山県立大学学位記授与式・修了式を以下のとおり挙ります。

なお、実施方法等が変更となる場合は、県立大学HPでお知らせしますので、ご確認ください。

【概要】

- ◆日時 令和8年3月20日(金・祝) 午前10時30分～
- ◆会場 アルビス小杉総合体育センター
 (射水市戸破3111番地)
- ◆その他 ・駐車場は数が限られていますので、ご留意願います。
 ・小杉駅(南口)並びに射水キャンパスから会場行きシャトルバスをご用意いたしますので、シャトルバスのご利用をお願いします。
 ・当日の式典の様子は、富山県立大学HPにて同時中継します。



3 公立大学法人富山県立大学安否確認システム（ANPIC）

●安否確認システム（ANPIC）について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認システム（ANPIC）」を導入しています。富山県で「震度5弱」以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さんに登録していただいているメールアドレス等にANPICから安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否状況を報告することになっています。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動でメール配信を行います。

●安否検索

ANPICは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合がありますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログインサイト】のURL*にアクセスして、安否検索をご利用くださいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が学生及び教職員の安否を確認できるよう一時的に公開します。

※本学のホームページの安否確認システムのサイトに掲載しています。



C-hubサークル



こんにちは!富山県立大学の C-hubサークルです。

C-hubの「C」には Connect・Challenge・Create の3つの意味が込められており、「人と人をつなぎ、新しいことに挑戦し、価値を創り出す」ことを大切にしています。活動理念は、「学生の“やってみたい”を形にする場所」です。

C-hubは富山県立大学発の学生コミュニティとして、学生同士はもちろん、地域企業や自治体、さらには海外ともつながる“ハブ”の役割を担っています。地域課題に向き合うプロジェクトや、企業と連携した企画、イベントの運営など、実社会と関わる実践的な活動を行っています。今年度は、富山県立大学のダ・ヴィンチ祭や大門高校において、企業の皆さまにご協力いただき、職業体験イベントを実施しました。

学部・学年を問わず参加でき、初心者でも先輩が丁寧にサポートするので安心です。「何か新しいことに挑戦したい」「自分のアイデアを形にしてみたい」という方、大歓迎です。ぜひ一度、C-hubの活動をのぞいてみてください!

Instagram : tpu_c_hub
知能ロボット工学科 3年 肥田 慶治朗

Schedule

スケジュール【令和8年度】

April
4月

- 8日(水) 入学式
- 10日(金) 前期授業開始

射水キャンパス

- 3月27日(金)~4月9日(水) オリエンテーション
- 2日(水)、3日(木)、6日(日) 学生定期健康診断

富山キャンパス

- 2日(水)~9日(水) オリエンテーション
- 2日(水)、7日(水)、9日(金)、10日(土) 学生定期健康診断

May
5月

- 中旬 研究協力会総会

June
6月

- 1日(月) 学生球技大会

射水キャンパス

- 下旬 大学院工学研究科・情報工学研究科入学者選抜

July
7月

- 上旬 サークルリーダー研修会
- 下旬 対面型オープンキャンパス (工学部・情報工学部、看護学部)

※令和8年1月20日現在の予定であり、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。

編集後記

この度、情報工学部の学び・研究の拠点として期待される情報工学研究棟が完成しました。令和6年4月に情報工学部が開設され、このとき入学された学生は4月から3年生となります。この情報工学研究棟の講義室・実験室・研究室にて、勉学・研究に励んでいただきたいと思います。また、情報工学研究棟には自習スペースやコミュニケーションラウンジがあり、学生・教職員との情報交換がしやすい環境となっています。オープンキャンパス等で

公開されますので、ぜひお越しいただき、充実した学習・研究環境をご覧くださいればと思います。

さて、今年の富山の冬は「〇年に一度の寒波が来る」と何度も天気予報やニュースで言われ、前もって備えることが多くなったような気がします。この「前もって備える」ということは、研究活動、企業での製品開発から普段の生活においても重要であることは周知の事実で間違いありません。この3月に社会に飛び立つ皆さん

は、富山県立大学で様々な経験をしてこれから起こり得る課題に対して、しっかりと準備を行ってきたはずです。本学で学んだこと、経験したことをフル活用して、課題をクリアしていきましょう。そしていつの日か、自らの経験や知識を本学の後輩に語るができるように備えてくれることを期待しています。

(広報委員長 石坂 圭吾)

